

飼養衛生管理の再徹底を！

ワクチンを接種しても100%の豚で抗体陽性になるわけではないため、飼養衛生管理でしっかりとカバーしましょう。

① 飼養衛生管理区域への病原体侵入防止

● 車両消毒の徹底

消毒液はすぐには効果がでません。十分な感作時間を設けましょう。

● 野生動物の侵入防止

野生動物が来たくなるような環境の排除



(餌こぼれ、身をかくせるような草むらや資材が放置されていないか)

② 畜舎への病原体侵入防止

● 服や靴の交換、手袋の交換または手指の消毒



● ネットや豚舎に野生動物が入れる穴はないか定期的な確認と補修

● 豚の移動時に使用する通路やコンテナの消毒

毎日の健康観察で異常があれば
直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

岐阜県中央家畜保健衛生所

TEL 058-201-0530